



## 平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年6月29日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3050 URL <https://www.dcm-hldgs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 久田 宗弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 熊谷 寿人 TEL 03-5764-5214  
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	117,766	△0.5	6,222	△10.4	5,970	△12.6	4,061	△8.2
30年2月期第1四半期	118,317	0.8	6,944	0.0	6,831	5.6	4,425	18.9

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 4,889百万円 (14.3%) 30年2月期第1四半期 4,277百万円 (△5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	29.42	25.59
30年2月期第1四半期	31.20	27.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	436,041	186,538	42.8
30年2月期	403,136	183,403	45.5

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 186,538百万円 30年2月期 183,403百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	238,000	2.3	14,300	6.3	14,000	6.4	8,900	4.6	64.48
通期	454,100	2.4	21,000	7.7	20,200	8.5	11,800	4.3	85.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期1Q	142,474,624株	30年2月期	142,472,554株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	4,397,275株	30年2月期	4,455,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期1Q	138,047,450株	30年2月期1Q	141,829,365株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9
3. 補足情報 .....	9
商品別売上情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策のもと企業収益・雇用環境に緩やかな回復基調が見られましたが、海外の政策動向や地政学リスク等、先行きについては不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、企業収益の回復基調と比較して個人消費は力強さに欠け、また業態を超えた販売競争もあり、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については10店舗、退店については4店舗を実施しました。これにより当第1四半期連結会計期間末日現在の店舗数は675店舗（DCMカーマ171店舗、DCMダイキ159店舗、DCMホームマック290店舗、DCMサンワ33店舗、DCMくろがねや22店舗）となりました。

販売面においては、3月、4月は、気温の上昇と共に園芸用品やレジャー用品が好調に推移しましたが、5月は、天候不順等の影響により客数が伸び悩み、各商品部門ともに低調となりました。DCMブランド商品については、ローポピュラープライス商品の開発・販促強化等に取り組んだ効果もあり好調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は1,177億6千6百万円（前年同期比99.5%）、営業利益は62億2千2百万円（前年同期比89.6%）、経常利益は59億7千万円（前年同期比87.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億6千1百万円（前年同期比91.8%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、8ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

## (主要商品部門別の状況)

## ① 園芸・エクステリア部門

植物や園芸用品は、除草剤、花苗・野菜苗、玉砂利等のDCMブランド商品の販促に取り組み、3月中旬から4月にかけては天候にも恵まれ、好調に推移しましたが、5月は天候不順により低調となりました。その結果、売上高は241億5千9百万円（前年同期比96.5%）となりました。

## ② ホームインブルーメント部門

ホームインブルーメントについては、新規開発したDCMブランドの電動工具の販売が好調に推移したほか、冬場の大雪による補修需要もあり、春先は建築資材等が好調となりました。また、降雨量が多く、塗料・屋外作業資材等の販売は低調となりましたが、合羽・長靴等は好調に推移しました。その結果、売上高は228億7千7百万円（前年同期比100.9%）となりました。

## ③ ホームレジャー・ペット部門

レジャー用品は、降雨量が多く販売が低調となりました。新生活に向けて販売のピークとなる自転車は、DCMブランドのパンクしない自転車を中心に販売が好調に推移しました。ペット用品は、生体の販売は好調に推移しましたが、ペットフードの販売は低調となりました。その結果、売上高は173億3千8百万円（前年同期比98.3%）となりました。

## ④ ハウスキーピング部門

まとめ買いの仕掛けと価格強化を行った洗剤・芳香剤等は好調に推移しました。また、DCMブランド商品については、新規開発した紳士傘、ポリウム陳列により訴求した行楽用バッグが好調に推移しました。一方、キッチン用品・化粧品等は低調となりました。その結果、売上高は269億3千4百万円（前年同期比97.4%）となりました。

## ⑤ ホームファニッシング部門

ハンガー・クッション等は、企画展開したことにより好調に推移しましたが、組立家具・PC収納が低調となりました。DCMブランド商品については、新規開発した快眠マットレス、ホテル仕様まくらが好調に推移しました。その結果、売上高は70億6百万円（前年同期比92.4%）となりました。

## ⑥ ホームエレクトロニクス部門

販売強化に取り組んだ、エアコンやサーキュレーター等の空調関連機器が好調に推移しました。また、重点販売に取り組んだDCMブランドのLED電球・LED照明も好調に推移しました。一方、冷蔵庫、電子レンジ、ガステーブル等については、新生活需要を取り込みきれず低調となりました。その結果、売上高は75億5百万円（前年同期比96.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、季節的要因及び㈱ケーヨーへの商品供給により、商品在庫や売掛金が増加したことや、新規10店舗の出店等により有形固定資産が増加したことから、資産合計は前連結会計年度末に比較して329億4百万円増加し、4,360億4千1百万円となりました。

負債残高は、季節的要因及び㈱ケーヨーへの商品供給による買掛金の増加等により、負債合計は前連結会計年度末に比較して297億6千9百万円増加し、2,495億3百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いがありました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して31億3千4百万円増加し、1,865億3千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の連結業績予想につきましては、平成30年4月13日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	11,893	18,860
受取手形及び売掛金	5,228	22,101
リース投資資産	2,809	2,767
商品	93,911	100,285
繰延税金資産	1,397	1,103
その他	7,302	7,598
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	122,541	152,717
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	217,849	221,572
減価償却累計額	△124,011	△125,420
建物及び構築物 (純額)	93,838	96,152
土地	80,955	80,895
リース資産	17,604	18,183
減価償却累計額	△4,017	△4,152
リース資産 (純額)	13,586	14,031
建設仮勘定	2,328	1,037
その他	38,519	39,817
減価償却累計額	△29,574	△30,292
その他 (純額)	8,945	9,524
有形固定資産合計	199,655	201,641
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,615	1,541
借地権	6,543	6,565
ソフトウェア	4,324	4,387
その他	242	241
無形固定資産合計	12,726	12,736
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	19,080	20,163
敷金及び保証金	43,213	42,896
繰延税金資産	2,172	2,199
長期前払費用	2,783	2,767
その他	1,041	996
貸倒引当金	△77	△76
投資その他の資産合計	68,213	68,945
固定資産合計	280,595	283,323
資産合計	403,136	436,041

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,000	41,098
電子記録債務	15,467	22,744
短期借入金	22,950	31,800
1年内返済予定の長期借入金	14,378	12,957
リース債務	708	729
未払法人税等	2,822	1,795
賞与引当金	1,675	1,461
役員賞与引当金	6	3
ポイント引当金	601	613
その他	12,574	14,389
流動負債合計	96,185	127,593
固定負債		
社債	10,000	10,000
新株予約権付社債	19,983	19,981
長期借入金	65,013	62,577
リース債務	15,628	16,136
繰延税金負債	1,162	1,496
再評価に係る繰延税金負債	147	147
役員株式給付引当金	37	48
退職給付に係る負債	288	292
資産除去債務	1,875	1,902
長期預り金	5,400	5,376
その他	4,009	3,950
固定負債合計	123,547	121,909
負債合計	219,733	249,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,008	10,009
資本剰余金	45,103	45,104
利益剰余金	131,344	133,592
自己株式	△4,326	△4,270
株主資本合計	182,129	184,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,200	4,019
繰延ヘッジ損益	△25	△2
土地再評価差額金	△1,935	△1,935
退職給付に係る調整累計額	34	19
その他の包括利益累計額合計	1,273	2,101
純資産合計	183,403	186,538
負債純資産合計	403,136	436,041

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	116,599	116,010
売上原価	77,851	77,934
売上総利益	38,747	38,075
営業収入		
不動産賃貸収入	1,717	1,755
営業総利益	40,465	39,831
販売費及び一般管理費	33,521	33,609
営業利益	6,944	6,222
営業外収益		
受取利息	53	53
受取配当金	53	50
為替差益	40	16
持分法による投資利益	139	58
その他	91	99
営業外収益合計	378	277
営業外費用		
支払利息	413	500
その他	77	29
営業外費用合計	490	529
経常利益	6,831	5,970
特別利益		
固定資産売却益	0	16
特別利益合計	0	16
特別損失		
固定資産除売却損	23	31
減損損失	56	—
賃貸借契約解約損	215	—
店舗閉鎖損失	—	15
その他	17	38
特別損失合計	312	85
税金等調整前四半期純利益	6,518	5,901
法人税、住民税及び事業税	1,338	1,534
法人税等調整額	754	305
法人税等合計	2,093	1,840
四半期純利益	4,425	4,061
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,425	4,061



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)
四半期純利益	4,425	4,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152	663
繰延ヘッジ損益	7	23
退職給付に係る調整額	△0	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	157
その他の包括利益合計	△147	828
四半期包括利益	4,277	4,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,277	4,889
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	34,497	24,729	49,427	9,663	118,317	—	118,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	1	1	14,755	14,798	△14,798	—
計	34,537	24,730	49,429	24,419	133,116	△14,798	118,317
セグメント利益	2,070	1,369	3,256	2,746	9,442	△2,498	6,944

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及びDCMサンワ(株)並びにDCMくろがねや(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,498百万円は、セグメント間取引消去△2,499百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	33,480	23,690	48,378	12,216	117,766	—	117,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	1	3	13,468	13,512	△13,512	—
計	33,519	23,691	48,381	25,684	131,278	△13,512	117,766
セグメント利益	2,041	1,285	2,340	2,700	8,367	△2,145	6,222

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及びDCMサンワ(株)並びにDCMくろがねや(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,145百万円は、セグメント間取引消去△2,145百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成30年6月29日開催の取締役会において、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。）第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議いたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ」をご参照ください。

3. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自平成29年3月1日 至平成30年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	25,031	21.5	24,159	20.8	70,223	16.1
ホームインプルーブメント	22,672	19.4	22,877	19.7	87,251	20.0
ホームレジャー・ペット	17,639	15.1	17,338	14.9	65,376	15.0
ハウスキーピング	27,663	23.7	26,934	23.3	109,352	25.0
ホームファニシング	7,586	6.5	7,006	6.0	27,939	6.4
ホームエレクトロニクス	7,774	6.7	7,505	6.5	38,924	8.9
その他	8,231	7.1	7,768	6.7	33,957	7.8
ホームセンター事業計	116,599	100.0	113,590	97.9	433,024	99.2
商品供給高	—	—	2,420	2.1	3,634	0.8
合計	116,599	100.0	116,010	100.0	436,659	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材 住宅設備他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、 ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他

3. 当第1四半期連結累計期間において、事業部門の商品供給高を別掲したため、前年比較にあたっては、前連結会計年度分を組替えて表示をしております。